

2021年12月27日

株式会社 aiforce solutions

文系社員・事務系部門からの引き合いが 急増中のビジネス AI 教育

「時代に求められる人材になる」講義を公開！
～ 事例も学べる【AI 未経験でも分かるビジネスでの活用法】～



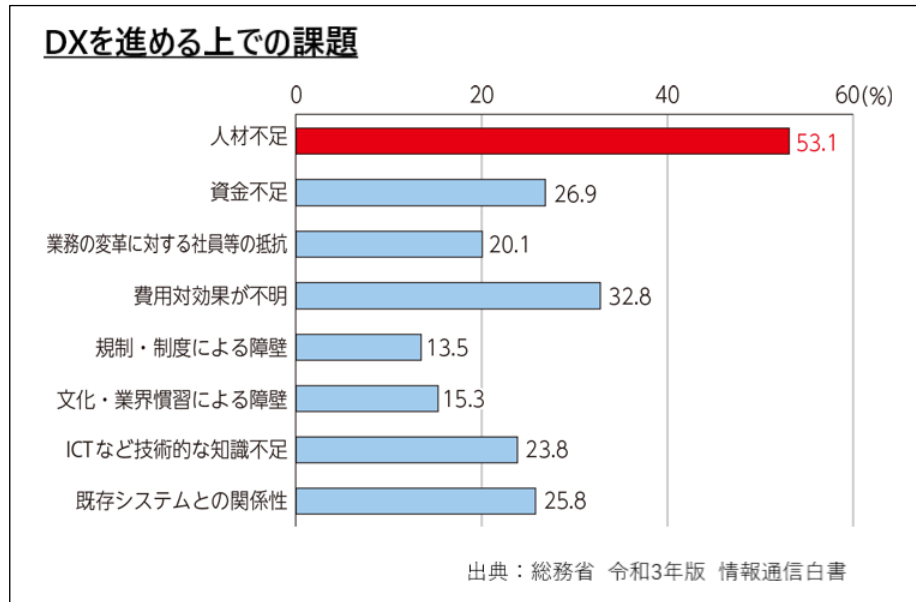
Schoo × aiforce solut!ons

AI 未経験の社員でもビジネスで AI を活用できるサービスを提供する株式会社 aiforce solutions（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：西川 智章、以下「aiforce」）は、インターネットでの学びや教育を起点とした社会変革を行う株式会社 Schoo（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：森 健志郎、以下「スクー」）が提供する法人向けオンライン研修プラン『Schoo for Business』にて、企業の DX 推進を一貫してサポートする講座として、aiforce の COO 高橋蔵人による講座（全 5 回シリーズ）を提供することをご報告いたします。

■aiforce が講座を提供する背景

企業が持つ多種多様なデータを分析して「予測」や「判断」を行なう上で AI 技術を活用することは、これからのデジタル社会で競争優位性を維持し事業成長を続けていく為には必須と言える時代になりました。

しかし、そのボトルネックが人材の不足という事態になっている声は多く聞かれます。総務省の「令和3年版 情報通信白書」によると、日本企業におけるDXを進める上での課題は「人材不足」が53.1%で最多という調査結果にもあるように、事業成長に本当に必要なスキルを持つ人材が今の日本では不足しているのが実情であり、実際のビジネス現場とのスキルギャップを埋めるリスクリングは経営の最重要課題といっても過言ではありません。



aiforce では、この経営課題を一気に解決する AI 活用プログラムを既に多くの大手企業に提供しており、その実績・事例をもとに更なる最適化が進んだ経験・知見があるため、まだDXやAI活用に取り組めていない日本企業の課題解決を図ることを目的として、講座を提供いたします。

■講座を受講する方のメリット

当講座を受講することで、「ぼんやりとしたAIのイメージ」から脱却し、これからの時代に必須となる「ビジネスでAIを活用するスキル」を身につけることができます。講座内では、短時間で効果の高い学びと成果を得られるように、下記の3点を軸とした詳細な解説をしております。

【講座を受講する方のメリット】

- ① AIの基礎知識と有効性／利活用するための方法や手順について前提知識がなくても理解を深められる
- ② 事例を学ぶことによってAIをビジネスで具体的に活用するイメージが持てるようになる
- ③ ビジネスでAI活用を進めるために有効なフレームワークを学ぶことによって実践的な活用案に落とし込む要点を身につけることが可能となる

■ 講座

講座名： AI 未経験でも分かるビジネスでの活用法 - AI 理解・事例・フレームワーク

講師名： 高橋 蔵人

URL : <https://school.jp/class/8534>

内容 : 全5回

aiforce solut!ons

全5回でAI活用の成功に必要な「スキル」習得を目指します

ロールプレイング型のスキル習得プログラム

Step0. なぜいまDX/AIが必要とされているのか理解する
1. AIとDX

Step1. AIができることを理解し、AIを分解する力をつける
2. AIテクノロジー概論

Step2. 業務課題がAIで解決できるかどうか理解できる
3. AIを疑似体験してみよう ~AMATERAS RAY~

Step3. AI活用
4. 企業での具体的なAI活用法

To-Be データ・AIドリブンな経営

AMATERAS RAY等の機械学習ソフトウェア

↑AIテーマ選定フレームワーク

↓AI分解のフレームワーク

CONFIDENTIAL ©2021 aiforce solutions Inc. All Rights Reserved

aiforce solut!ons

AI分解のフレームワークで理解しよう

今回は新規出店予定の店舗の売上を予測するAIモデルを作ります。AIモデルを作るために必要なデータはどのようなものがあるか一緒に考えてみましょう。

AI関連事例 (ニュース等)	Input		機械学習	Output	効果
	データ	データの種類	AIモデルの名称	ビジネス効果	
	利用データ	データの種類	機械学習	AIモデルの名称	ビジネス効果
	(★目的変数) ●過去の販売点数 ●日時 ●販売件数 ●売上予算 ●売上実績 ●来客数 ●キャンペーン	数値データ 画像データ テキストデータ 音声データ	回帰 (予測) 分類 (識別) その他	食品販売予測モデル	定額効果 定性効果

CONFIDENTIAL ©2021 aiforce solutions Inc. All Rights Reserved

aiforce solut!ons

【分類事例】本田技研工業における知的財産維持判定 1/2

知財権利を維持するか否か、その判断をAIに任せられるか？—本田技研工業の挑戦

2019年9月24日(火) 社田 哲 (IT Leaders編集部)

インフラ・販路店数におけるドローン活用の現状、市場成長性などを分析し、
【AI】に変わる人々のためのメディア「スマートショップ」調査レポート。

企業におけるAI活用の領域が広がっている。チャットボットや商品の提案など、さまざまな場面でAIが活用されている。その中でも、知的財産の権利を維持する業務は、AIの活用が期待されている。

知財部員の業務量70%削減見通し

世界で5万件の知財を保有

本田技研工業と言えば、4輪(自動車)、2輪(バイク)のグローバルメーカー、「世界のホンダ」として知られているが、その他にも鉄道車両や芝刈機などの「パワープロダクト」も手がけている。2018年度の販売台数は2輪が2014万台、4輪が527万台、パワープロダクトが630万台。海外拠点を北米、南米、欧州、アフリカ・中東、アジア・大洋州に6カ所設けており、累計販売台数3171万台のうち3000万台以上が海外での販売実績となっている。

【出典】IT Leaders 知財権利を維持するか否か、その判断をAIに任せられるか？—本田技研工業の挑戦 2019.09.24
<https://it.impressbm.co.jp/articles/-/185672fcd-e400c4b80c5580720ca3076ca322e9>

CONFIDENTIAL ©2021 aiforce solutions Inc. All Rights Reserved

【 講座各回の概要 】

第1回 DXとAI

- 1) 企業と自己紹介
- 2) ゴールと全5回の進め方
- 3) DXにおけるAIの位置付け
- 4) 事例紹介：ビジネス・業務変革の手段としてAI活用を推進する企業

第2回 AIテクノロジー概論

- 1) 第2回の位置付け
- 2) AIとは？ ～AIでできることは2つだけ～
- 3) 教師あり学習 ～分類～
- 4) 教師あり学習 ～予測～
- 5) AIでできないこと（難しいこと）
- 6) AIを分解するチカラをつけよう！

第3回 AIを疑似体験してみよう

- 1) 第3回の位置付け
- 2) AIモデルづくりを体験してみよう！
食品販売予測のデモンストレーション
- 3) 解説：機械学習アルゴリズム
- 4) AIモデルの良し悪しの判断

第4回 企業での具体的なAI活用方法

- 1) 第4回の位置付け
- 2) AI活用のテーマを洗い出してみよう！（AI選定フレームワーク）
- 3) 具体的なAI導入のイメージ

第5回 ビジネスでAIを使う為に明日からできること

- 1) ゴールと全五回の振り返り
- 2) DX時代にビジネスで必要とされるスキル
- 3) 明日からできること
- 4) メッセージ

■講師詳細



株式会社 aiforce solutions 取締役 COO

AI ビジネスプロデューサー

東北大学 データ駆動科学 AI 教育研究センター 特任准教授（客員）

高橋 蔵人

外資系コンサルティング会社にて、内部統制や全社リスク管理体制の構築・評価支援、マネーロンダリング管理体制構築支援、企業不正リスク評価などのコンサルティング業務に携わる。金融機関、ヘルスケア企業、総合商社等、多様な業種の業務・財務プロセスの内部監査にも従事。その

後、70年続く伝統企業の取締役 経営企画事業部長として、戦略策定と実行に従事した後、aiforce solutions の立ち上げに参画。現在は AI 活用のコンサルティングや大学や企業の AI「活用」人材育成の教育講師を務め、2000名以上の AI 活用人材を育成。

■Schoo for Business の「DX」カテゴリについて

「DX」のカテゴリでは、DXの基礎に関する講義形式の授業に加え、着手する際に抑えるべきポイントや成功までの具体的なアプローチを事例を通して学ぶ実践的な授業まで、幅広く備えたラインアップにより、企業が抱えるDXに関するあらゆる悩みの解消をサポートします。また、これらの授業はプレミアム会員も受講が可能です。

『Schoo for Business』は、「オンライン研修」と「自己啓発学習」の掛け算で学び続ける組織を作るオンライン学習サービスです。「今学びたい学習コンテンツに出会える」をコアバリューとし、社会人向け学習動画を約6,500本提供しています。ビジネスマナーやスキル、営業・プログラミング・デザインの実務スキルについてオンライン動画にて持続的な学習環境を提供することで導入企業は累計2,400社を突破し、自発型学習による社員一人ひとりの潜在した可能性との出会い、成長機会の提供に役立てられています。

株式会社 Schoo (<http://corp.schoo.jp/>)

「世の中から卒業をなくす」をミッションに、インターネットでの学びや教育を起点とした社会変革を進めている。大人たちがずっと学び続けるオンライン生放送学習コミュニティ『Schoo（スクー）』は2012年のサービス開始後、「未来に向けて、社会人が今学んでおくべきこと」をコンセプトとした生放送授業を毎日無料提供。過去の放送は録画授業として約7,400本公開中。法人向けには社員研修と自己啓発学習の両立を実現する『Schoo for Business』を提供し、学び続ける組織作りに貢献。登録会員数は約69万人、導入企業実績は2,400社を突破。2014年から約20の大学・教育機関のDX化を支援。2021年9月には高等教育機関DXプラットフォーム『Schoo Swing 正式版』を提供開始。奄美大島と包括協定を行うなど、地方エリアへの遠隔教育普及によって実現する「未来の暮らし」の確立も進めている。

会社名：株式会社 Schoo（呼称：スクー）

代表者：代表取締役社長 CEO 兼 CCO 森 健志郎

設立：2011年10月3日

資本金：1億円（資本金）

所在地：〒150-0032 東京都渋谷区鶯谷町2-7 エクセルビル4階

事業内容：インターネットでの学びや教育を起点とした社会変革

株式会社 aiforce solutions (<https://www.aiforce.solutions/>)

株式会社 aiforce solutions は、AI 民主化を目指し、AI を自由に活用できる社会の実現に向けて果敢に挑戦している会社です。

現在、日本国内において AI 市場は加熱気味の一方、それを担う専門家人材が不足しており、需要と供給がマッチしていません。また、AI 導入には高額な導入費用と期間がかかるため、メディアで報道されているほどビジネス市場における AI 導入は進んでいないのが実態です。

aiforce solut!ons

この問題を解決するために、AI 運用の内製化を強力に推進するビジネス AI ツール「AMATERAS RAY」、並びに AI リテラシー向上の為の実践型 AI 教育プログラム「AMATERAS EDU」を提供しています。

そして、昨今の日本の DX 課題を解決すべく、「誰もが使える AI ツール」「AI リテラシー教育」「プロによるコンサルティングサービス」の 3 点をオールインワンで提供する「AMATERAS DX サクセス」の提供を開始しています。

社名	株式会社 aiforce solutions
設立	2018 年 7 月
代表者	西川 智章
所在地	東京都千代田区大手町 1-5-1 大手町ファーストスクエアウエストタワー 2F
事業内容	<p>1. <u>Auto Machine Learning(自動機械学習)ツール「AMATERAS RAY」の開発、販売</u></p> <ul style="list-style-type: none">・マウス操作だけで機械学習による学習済みモデル構築ができるソフトウェアの提供・AI モデル構築時間を大幅に削減し、仮説・検証サイクルを早期に回せる仕組みを提供 <p>2. <u>AI 人材育成プログラム「AMATERAS EDU」の提供</u></p> <ul style="list-style-type: none">・ビジネスパーソンの AI リテラシー向上を目的とした実践型の教育プログラム・AMATERAS RAY を活用し、誰もが AI モデル構築プロセスを体験する価値を提供 <p>3. <u>DX/AI コンサルティングサービスの提供</u></p> <ul style="list-style-type: none">・データ分析、AI モデル構築業務・業務課題、テーマ選定、導入コンサルティング、内製化支援等・AI プロジェクト PM (AI ベンダー選定、投資先の技術評価と選定支援等)

※掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。